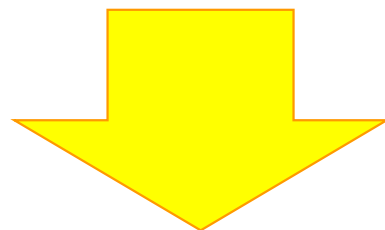
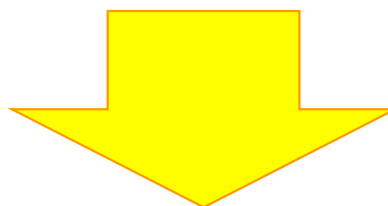


視覚障害者は、長さを定規で測るのが  
難しいのでは？



弱視用の定規はすでにある



全盲の人が視覚に頼らないでも長さを測ることの  
できる定規を作ってみたい！

**【先行意匠調査】**

定規としての機能を強化する定規はあったが  
目盛りを触覚で感じ取る定規は見当たらなかった。

**【どのように役に立つか】**

- ◆視覚障害者が物の長さを測ることができる。
- ◆全盲の子どもたちが、楽しく長さの勉強をできる。
- ◆数字や文字を集中して見るのが苦手な人も  
落ち着いて測ることができる。

# 「手の感覚で長さを感じられる定規」を作る

## ① 占字を利用する

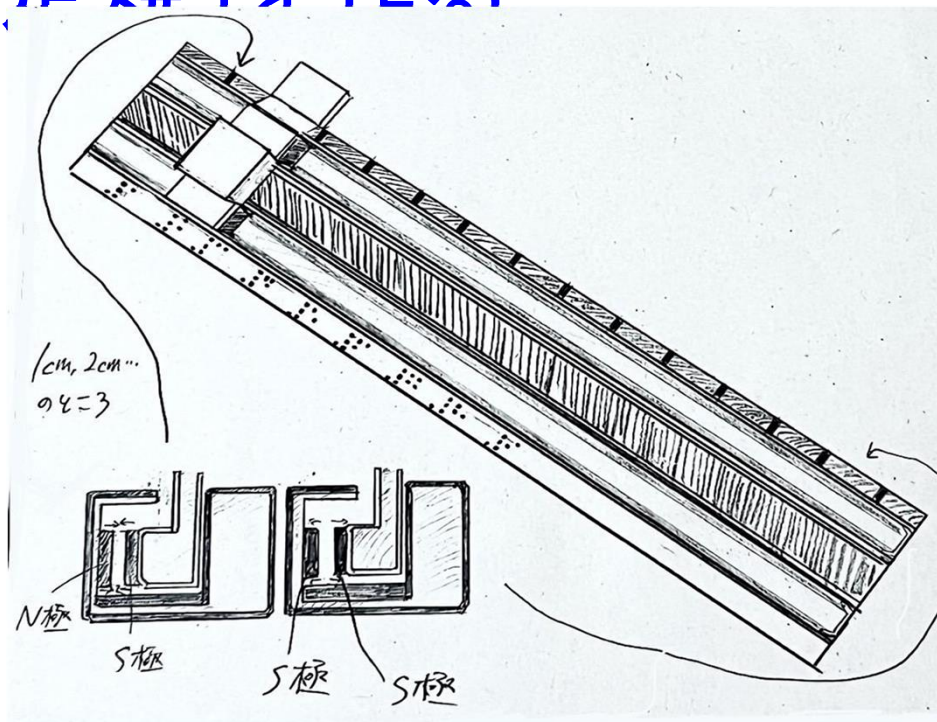


## ② 磁石のN極とS極を利用する

\* 定規の上に2つのレールとスライドするストッパーをつける。

\* ストッパーとレールにはS極が表面になるように磁石をつけ、もう一つのレールには目盛りごとにS極とN極を交互に配置する。

\* 目盛りごとにN極とS極が反応し、「カチッ」という音とともに引っかかり、手の感覚で目盛りを感じる事ができる。



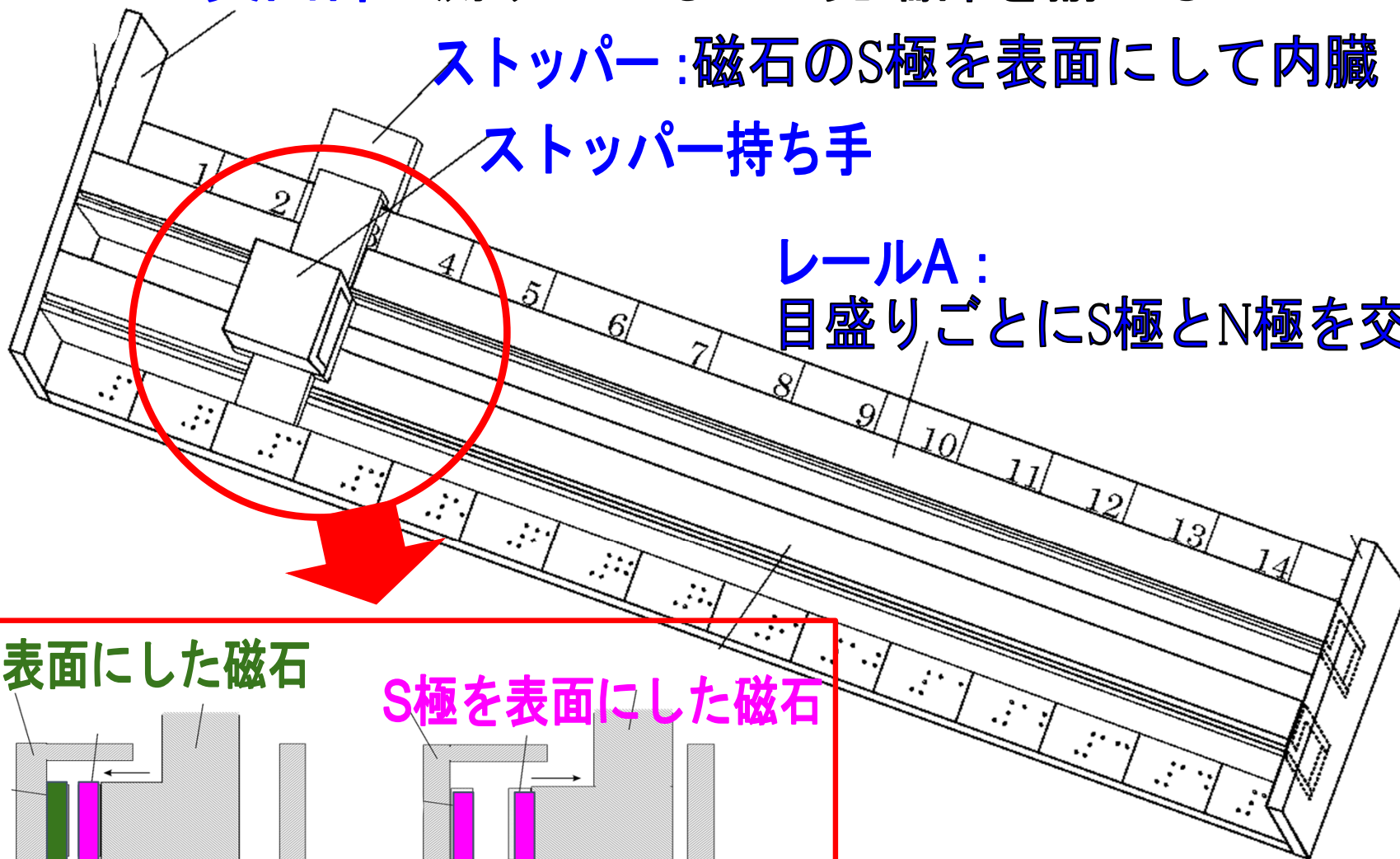
**突出部** : 測りたいものの先端部を揃える

**ストッパー** : 磁石のS極を表面にして内臓

**ストッパー持ち手**

**レールA** :

目盛りごとにS極とN極を交互に内臓



N極を表面にした磁石

S極を表面にした磁石